

シリーズ

「仕方なし復興」に抗って/風を起す

2020年3月で、東日本大震災から10年目の年を迎えます。帰還政策はどんどん進められ、ついに3月には双葉町の一部で避難指示が解除される予定です。帰還困難区域としては、原発事故後はじめての避難指示解除となります。

『復興五輪』も開催されます。聖火リレーは、原発事故対応の拠点であったJヴィレッジからスタートします。

県をあげての目玉政策である『イノベーション・コースト構想』は、復興の担い手として子どもたちを巻き込みながら推し進められています。

これらの「明るい」ニュースを横目に、まわりに耳をすませば、「仕方ない、仕方ない」の声があちらこちらから聞こえてきます。これらの「明るい」ニュースの裏で、何か置

き去りにされていないでしょうか。見えなくさせられていないでしょうか。諦めさせられていないでしょうか。

政治学者の丸山真勇さんは、「現実だから仕方がない」と諦めて傍観する「現実主義者」のあり方に疑問を呈しながら、日本の民主主義は〈仕方なしデモクラシー〉であると痛烈に批判しました。

いま私たちがこの復興の動きに名前をつけるとしたら……〈仕方なし復興〉と呼びたい。そして、せめて抗った爪痕を遺し、次の10年を諦めの結果の産物とするのではなく、私たち自身がつくっていく一歩を踏み出したいのです。

そのヒントを探して、いまお話を聴きたい方々の講演と、参加者との対話の会を、年間通して開催します。

第1弾

私たちの「故郷」とはどこか？ —福島・東北から国家と世界を読む—

講師 **早尾貴紀**さん



早尾さんは、震災後、保養と避難・移住の全国支援ネットワーク「311 受入全国協議会」を立ち上げ、助けを求める多くの原発事故被災者をつなぎとめてきました。その動きの底流には、自身も避難者であるということ以上に、パレスチナ/イスラエル研究者としての視点が常にあったのでしょう。世界の分断や離散をつぶさに見つめてきた早尾さんをお迎えし、じっくりお話を伺います。

2020年 **3月15日** (sun)
15:00 ~ 19:00

- 第1部 講演
 - 第2部 ディスカッション
 - 第3部 質疑応答
- の三部構成

須賀川市民交流センター **tette** ルーム 1-1
(福島県須賀川市中町 4-1)

参加費 … 1,000 円 (高校生以下無料)

要申し込み。メールまたは電話でお申し込みください。

☞メール … happy.island311@gmail.com 電話 … 090-5237-4312 (スズキ)

主催 **NPO はっぴーあいらんど☆ネットワーク**
<http://happy-island.moo.jp/>

講師プロフィール | はやお・たかのり

1973年福島県郡山市生まれ(現在の実家は須賀川市)。東北大学卒業、現在、東京経済大学准教授。専門は社会思想史。担当講義は世界政治論。著書に、『希望のディアスポラ』(春秋社)、『国ってなんだろう』(平凡社)、『ユダヤとイスラエルのあいだ』(青土社)、『パレスチナ/イスラエル論』(有志舎)、編著書、翻訳書は多数。2011年の東日本大震災では宮城県仙台市で被災。保養と避難・移住の全国支援ネットワーク「311 受入全国協議会」を設立、共同代表。

次回予告! 第2弾 ☞

4/25 (土)
16:00 ~ 20:00
神田香織さん(講談師)
蟻塚亮二さん(精神科医)
をお招きします。